

熱中症対応フロー

担当は 3A
「キー」 湯浅と平松
「デス!!」

球技大会も
あるのでしっかり
読んでね!

熱中症を疑う症状

- 四肢や腹筋のけいれん(こる)と筋肉痛がおこる。
- 全身倦怠感、脱力感、めまい、吐き気、嘔吐、
豆頭痛などがおこる。
- 頻脈、顔面蒼白となる。
- 足がもつれる、ふらつく・転倒する、突然座りこも
立ちあがれない等。

- 質問をして応答をみひる
- ここはどこ?
 - 名前は?
 - 今何をしています?

意識障害の有無

- 応答が鈍い
- 言動がおかしい
- 意識がない等

check!

check!

意識が
ある

意識が
ない

救急隊を要請
学校では先生を呼ぶ

Hot!!

涼しい場所への避難

涼しい場所に運び、衣服をゆるめて寝かせる

水分摂取が
できるか

できる

水分、塩分を補給する。

- 0.1~0.2% 食塩水あるいはスポーツドリンク
- 熱けいれんの場合は生理食塩水(0.9%)などの濃いの食塩水を補給

症状改善の有無

症状改善

経過観察

復活

脱衣と冷却

救急車到着までの間
積極的に体を冷やす。
冷水をかけたリ、濡れタオル
をあてる



!!!重要ポイント!!!

氷やアイスパックなどがあるば
頸部、脇の下、足の付け根などの大きい
血管を冷やすのもよい!

※できるだけ迅速に体温を下げることで
できれば救命率があがります。

病院に!!

体を冷やしなが
ら設備や治療スタッフの整った
集中治療のできる病院へ
一刻も早く搬送しましょう!!

